



組織現況 2008年11月30日現在

組合員数
26,229 人
出資金総額
79,326 万円
一人当たりの出資額
30,243 円

虹のまちとやま医療生協

2009年 1月号 No.309

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8351 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
<http://www.toyama-hcoop.com/>
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月 1回 発行
定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)
発行 富山医療生活協同組合



▲富山診療所周辺、対話訪問行動に参加しました（08年12月16日）



後期高齢者医療制度や特定健診が導入される一方、医師・看護師不足や地域医療の崩壊など、いのちと健康が脅かされる事態が深刻さを増しています。全国の医療生協では、深刻な地域の声を聴き、医療生協を語る「三〇〇万人対話大運動」をすすめています。対話を通じて住民の声を集め運動を広げれば、自治体を動かし、国の社会保障政策をも変える力を生み出すことも十分可能です。まずはお近くの組合員に一声かけてみてください。

国が変わるために、今すぐ手助けが必要な方も多くおられると思います。遠くの親〇より近くの他人、家族団らんが無理なら地域団らん。今ほど、身近な地域での助け合いが求められる時代はありません。「たすけっこクラブ」も活動の輪を広げ、認知症サポートの養成も四〇〇名を超えました。地域での日常的な支えとなる力を組織するには飛躍が必要ですが、「牛の歩みも千里」のたとえのように、訪問と対話で共感を一步一步広めましょう。

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、「医療生協があつてよかつた」を実感できる年にしようと、組合員と役職員が力を合わせて取り組みました。富山診療所の二十一年ぶり三回目の千石町への移転という難事業も、地元支部をはじめ組合員さんと診療所職員の奮闘で無事成功させることができました。診療所の評判も徐々に広がり、地元のみなさんにも温かく迎えられています。最近、近くに診療所ができて命びらいたとのうれしいニュースも耳にしました。これからも地域から頼りにされる診療所をめざして、みなさんとともに力を合わせたいと思います。「ひまわりショートステイ」も全面稼働に近づき、訪問・通所・短期入所と医療を総合的に提供できる、医療生協ならではの介護サービスが一層充実しました。

いのちと暮らしを守ろう！！
「組合員のつどい」のご案内

日時	3月8日(日)
	午前9時30分～12時30分(予定)
会場	県中小企業研修センター2階大ホール
内容	<ul style="list-style-type: none">・学習講演会(予定)・09年度活動方針骨子の提案



内視鏡 每年多くの国民が参拝し、テレビでも正月の日本的な映像として映し出される初詣風景。これは日本の伝統的な行事として永らく受け継がれてきたかのよくな印象をもつが、歴史的には意外と新しく、明治・大正頃からはじまっている▼それ以前は家中の中に籠もつて恵方からくる歳徳神を迎えて祀るというのが一般的で、有名社寺へ参拝する例は初午や初寅などの祭日に行われ、元旦を中心とする今日の姿とはまったくことなつていた(仏教大学八木透教授)▼それが今のようになつたのは、明治から大正にかけてで、その背景には「小学校祝日大祭日儀式規定」によって「教育現場」での「新年拝舞式」や「祭旦祭」の普及という国家の宗教政策、つまり国家神道の影響があるといわれている▼今は初詣に行く人は、國家をあまり意識していない。新しい年の初めに自分達の願いをこめた思いを祈る行事として定着している▼今年は選舉の年、〇八年の漢字は「変」に決まった。みんなが安心して生活できる政治に変えたいとの願いを胸に初詣に行きました(M)

ひとりは万人のために万人はひとりのために

